

漁海況月報

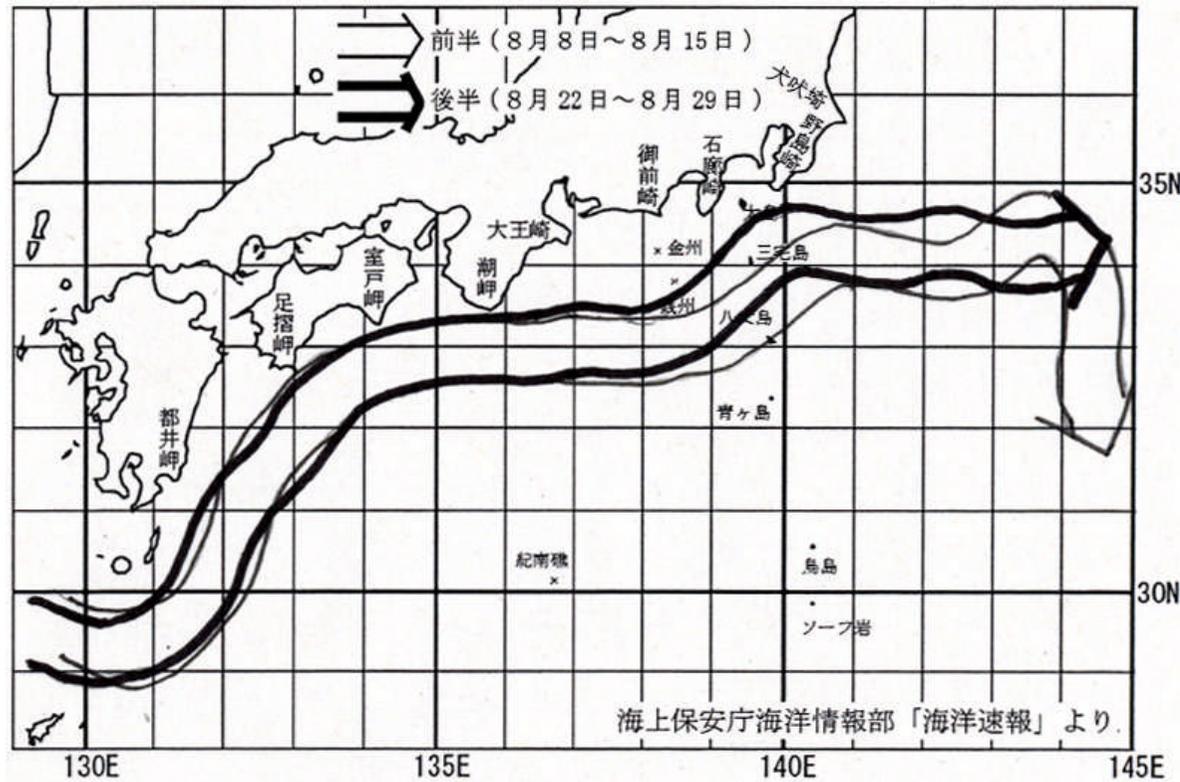
No. 8

平成18年 8月 1日

～8月31日

静岡県水産試験場
(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



2006年8月

定地水温の旬平均値 (°C)

(下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	23.4	23.1	23.0	23.3	24.0	23.7	23.6
	-1.5	-0.2	-0.8	-2.1	-1.2	-1.7	-2.0
中旬	25.1	24.9	24.4	23.8	22.9	25.4	25.9
	-0.2	0.8	0.1	-1.9	-2.8	-0.2	0.0
下旬	26.2	25.7	25.6	26.0	25.7	26.4	26.8
	1.1	1.4	1.1	0.0	-0.4	0.8	0.8
月	24.9	24.5	24.4	24.4	24.4	25.2	25.5
	-0.1	0.6	0.2	-1.3	-1.3	-0.3	-0.4

【黒潮流路】

潮岬以西では月を通して接岸傾向で流れた。

潮岬以東では、前半、遠州灘沖 33° N を東進後、伊豆半島沖から八丈島と三宅島の間を北東に向かい、房総半島沖を離岸傾向で東方へ流れた。伊豆諸島北部海域には 22～23°C 台の低水温が分布した。後半には、遠州灘沖 33° N を東進後、駿河湾沖から北東に向かい、三宅島付近を流れた。前半に比べ接岸し、特に 15～17 日には伊豆諸島北部での接岸が顕著にみられ、相模湾に暖水が波及した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 22～27°C 台、駿河湾東部では 21～26°C、西部では 22～28°C 台で経過した。平年に比べ、上旬は全域とも低めだったが、中旬以降は黒潮の接岸に伴って模湾側では平年並みから高めとなり、駿河湾西部でも下旬にはやや高めとなった。

【竿釣近海カツオ】

8月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は118トンで前年同期の76%であった。魚価は211円/kgで、前年同期より若干安値であった。

中型竿釣船の記録（QRY）及び御前崎市場での調査によれば、8月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

36°～40° N、144°～150° E 及び 34° N、140° E 付近で中、小、大、極小、特大カツオを中心に漁獲した。

静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が八丈島周辺で操業し、32～77cmのカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
18年8月上旬	38	9	4.2	198
	40	4	10.1	250
	40	10	4.0	184
18年8月計	118	23	5.1	211
17年8月計	156	29	5.4	223
16年8月計	48	17	2.8	198

【定置網】

平成18年8月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は275トンであった。操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量39.3トンは前年43.1トンの91%、平年値（昭和57～平成17年平均値）44.7トンの88%であった。

魚種別にみると、①サバ類140.6トン（A：前年同月比80%、B：平年同月比93%）②マルソウダ46.8トン（A：295%、B：220%）③ワラサ19.1トン（A：前年は0、B：538%）④カタクチイワシ16.6トン（A：580%、B：235%）⑤マアジ11.4トン（A：93%、B：50%）の順に多かった。

サバ類はゴマサバ主体で、谷津、北川、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは30cmと33cmにみられた。マルソウダは北川、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは24cmであった。ワラサは川奈に集中的に入網し、市場ではイナダ銘柄で販売されることも多かったが魚体重は2.5kgを超えており、尾叉長のモードは57cmであった。また、8月のワラサの漁獲量としては昭和57年以降で2番目に多かった。カタクチイワシは赤沢、北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは11cmであった。マアジは

谷津、赤沢、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは14cmにみられ0歳魚が中心であった。

漁場別水揚量は、北川(68トン：マルソウダ、サバ類、カタクチイワシ中心)、谷津(47トン：サバ類、マイワシ、マアジ中心)、川奈(45トン：ワラサ、サバ類、マルソウダ中心)の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港に水揚げされたゴマサバは、前月の水揚量(663トン)を下回る530トンであった。漁場は、三宅島及び中ノ瀬周辺に形成され、2歳魚と思われる尾叉長27~34cmの大きさのものを主体に35cm以上のものが若干混じって水揚げされた。1kg当たりの平均単価は40円で、安値であった前年同期(27円/kg)を上回ったものの、前月(62円/kg)を大きく下回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成18年 上旬	242	5	10	24.2	三宅、中ノ瀬
8月 中旬	106	2	4	26.5	三宅、中ノ瀬
下旬	182	5	10	18.2	三宅、中ノ瀬
計	530	12	24	22.1	-----
平成17年8月	788	13	31	25.4	銭洲、中ノ瀬、三宅、 新島、高瀬
平成16年8月	632	11	33	19.2	新島、利島、三宅

【シラス船曳網】

8月における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で435kg、遠州灘で715kgだった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は586kgと前年同期の124%、平年同期(過去5か年平均:274kg)の214%と前年同期、平年同期ともに上回ったが、総水揚量は992.1トンで前年同期(1,102.2トン)の90.0%と下回り、平年同期(565.3トン)の175.5%と上回った。平均単価は355円/kgと平年同期(773円/kg)を大幅に下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	81.1	9	123	659	326
舞 阪	209.1	9	348	601	302
福 田	269.6	11	258	1,045	287
御前崎	93.4	16	185	505	310
吉 田	193.7	16	405	478	398
静 岡	145.2	19	375	387	545
平成18年8月計	992.1	80	1,694	586	355
平成17年8月計	1,102.2	94	2,324	474	628
平成16年8月計	218.2	64	1,450	151	1,224

【まき網】

マイワシの水揚げは、小川港では3.4トンで平年同期(過去5か年平均:51.8トン)の6.6%、沼津港では6.1トンで平年同期(103.9トン)の5.9%と極めて低調であった。また、静浦港では0.6トンの水揚げがあったが、伊東港では水揚げがなかった。

一方、カタクチイワシは、静浦港に158.4トンで平年同期(189.8トン)の83.5%の水揚げがあった。

【調査船の動向】

富 士 丸

8月23日~

三陸沖方面カツオ・ビンナガ調査

駿 河 丸

- 8月 1日 ~ 8月 3日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘)(3日間)
- 8月 7日 ~ 8月 8日 サクラエビ産卵調査(駿河湾、遠州灘)(2日間)
- 8月10日 ~ 8月11日 シラス調査(駿河湾)(2日間)
- 8月17日 ~ 8月17日 サクラエビ調査(駿河湾)(1日間)
- 8月18日 ~ 8月18日 サクラエビ産卵調査(駿河湾、遠州灘)(1日間)
- 8月21日 ~ 8月21日 県民の日一般公開(小川港)(12日間)
- 8月22日 ~ 8月23日 トラフグ調査(駿河湾・遠州灘)(2日間)
- 8月28日 ~ 8月29日 サバ調査(駿河湾)(2日間)